

授業科目名 <英訳>		臨床研究特論 I Clinical research advanced I			担当者所属・ 職名・氏名		環境安全保健機構 教授 川村 孝				
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2016・ 後期前半	曜時限	月 6	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
(1) 臨床研究計画I・IIで履修した研究方法について掘り下げる。 (2) 学生から疑問点を提示し、教員と学生がいっしょに検討する。 (3) 教員から研究方法上の問題点を提示し、学生が検討する。											
[到達目標]											
各種研究方法について、その背景や考え方、利用の仕方や限界などについて研究事例に照らして深く理解する。											
[授業計画と内容]											
(1) 誤分類と回帰希釈 (2) RCTにおけるP値 (3) プラセボ反応 (4) RCTによる副作用の検証 (5) 多変量解析の特性 (6) メタアナリシスの特性 (7) 患者スペクトル (8) 臨床的有意 (9) 疫学研究成果と臨床											
[履修要件]											
・ MCRコース限定 (選択)											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
・ 意見発表の積極性、説明の明快さ											
[教科書]											
使用しない											
[参考書等]											
(参考書) 川村 孝 『臨床研究の教科書：研究デザインとデータ処理のポイント』 (医学書院) (臨床研究のデザイン、運営、解析、論文執筆の方法論とコツを解説) 川村 孝 『エビデンスをつくる：陥りやすい臨床研究のピットフォール』 (医学書院) (臨床研究のデザインや解析の失敗談とその対策を紹介) Hulleyら 『医学的研究のデザイン』 (メディカル・サイエンス・インターナショナル) Motulsky 『数学いらずの医科統計学』 (メディカル・サイエンス・インターナショナル) Kats 『医学的研究のための多変量解析』 (メディカル・サイエンス・インターナショナル)											
----- 臨床研究特論 I (2)へ続く ↓ ↓ ↓											

臨床研究特論 Ⅰ(2)

[授業外学習（予習・復習）等]

・自らの研究に反映し、同僚の研究を支援する。

（その他（オフィスアワー等））

臨床研究特論Ⅱと連携する。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。